

2023年6月29日  
丹波新聞

葉陰に隠れるモリアオガエルを観察する児童たち＝丹波篠山市川原で



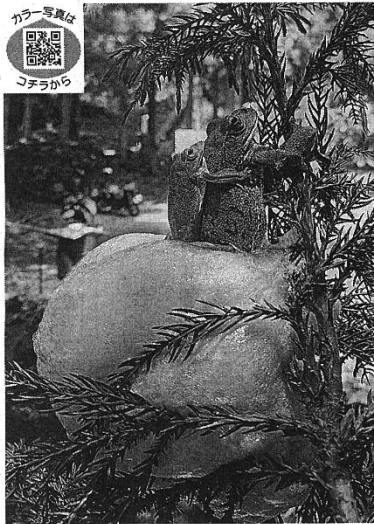
# 『きれいな色やなあ』

## モリアオガエルを観察

東雲高 多紀小 身近な自然に触れる

篠山東雲高校3年生で「里山文化」の科目を選択している4人と、地域の自然について学んでいる多紀小学校の4年生（19人）が21日、ささやまの森公園でモリアオガエルを観察した。座学で国内に生息するカエルの種類や生態などを学んだ後、同園の山中にあるため池でモリアオガエルを探したり、泡状の卵塊を観察したりして身近な自然に触れた。

講師は同高の理科教師、ささやまの森公園の職員が雌。



だ高校生の

（篠山中出身）は、「児童たちの元気いっばいの姿を見ていたら自分の小さい頃を思い出した。生き物が大好きだったけれど、多くを覚えていた記憶がよみがえり、反省しています」と苦笑いしていた。

小学生の

さんは、「卵塊はふわふわしていると思っていたが、発泡スチロールみたいで、思っていたよりも硬かった」と話していた。座学では、日本には43種類のカエルが生息していることや、モリアオガエルの卵塊の中には約500もの卵が入っていることなどの説明を受けた。

「里山文化」は、同高独自の科目で、先人たちの知恵や身近な環境問題を

を考える授業。同小4年は、川の生き物を中心に地域の自然について学びを深めている。